渓谷新聞

〜トロッコにゆられて〜

発行人 吉田えま
発行日13.9.17

絶景の旅

わたらせ渓谷鐵道

大自然を走りぬけて

わたらせ渓谷鐵道は群馬県桐生市の中心から栃木県日光市足尾町を結ぶ鉄道です。銅山が閉山される前は、主に銅をはこぶために使われていましたが閉山後は人を運ぶために使われています。足尾方面に住む人々にとって重要な足として大切にされています。

しかし、4万人もいた人口が10分の1ほどに減り、赤字が続き、何度もはい線のききに。そこで自然を生かした観光がスタートし、平成6年には100万人が利用しました。

車両だって絶景カラー!

車両は渓谷にとけこむ絶景カラー。

カモシカウォッチング!

足尾の山には一部岩山の部分があります。終点の間藤駅からは山のカモシカを見ることができます。

わ鉄のわっしー

イメージキャラクターとして活やく

深〜いい

銅山の歴史

足尾銅山は今から400年前に岡山県の2人の男性が発見しました。江戸時代にはお金を作る際にも使われ、どんどん銅をとっていくうちにほとんど銅がとれなくなってしまいました。でも、最新の技術で最盛期には日本の生産量の40%をしめるように。このように発展していった足尾銅山の銅の運ぱんのためにわ鉄がつくられたのです。

秋も乗ってみたよ

秋も実際に乗車しました。その日は満員でお客さんたちが多くいました。みんな車内に流れるアナウンスでしょうかいされるポイントを見てシャッターを切ったり、かん声をあげたりしていました。神戸駅にはキャラクターのわっしーが登場し、お客さんたちが喜んで見ていました。また水沼駅の温泉にも観光客がたくさん

んいました。特に人出が増えるのは秋の紅葉シーズン。

運転士からひとこと

若葉の6月もきれいです。安全運転をし、お客様によろこんでいただけるようがんばっています。

イルミネーション

草木トンネルに入るとすぐにイルミネーションが点灯します。まるで星空のようなとてもきれいです。

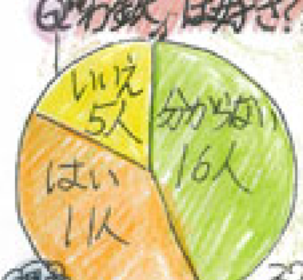
きれいだね!

アンケート

クラスで

“わ鉄”を知っているという人は23人もいましたが、実際に乗ったことがある人は9人しかいませんでした。意外にも乗ったことがある人が少ないので、ぜひ、みなさん乗ってみてください。絶景が楽しめますよ。

Q“わ鉄”は好き?



32人中

理由 涼しいし、きもちがよいので好きです。(男子)

あったかいよ♥地元の方々

わたらせ渓谷鐵道は地元の方があったかいので各駅、ふみきりなどを通ると必ず手をふってくれます。わ渓谷鉄はゆっくり走っています。なので町の様子がよくわかります。また、桐生への移動手段としてとても重要な役割を果しています。わ鉄は愛されているのです。

地元の人に聞いたよ

毎日、通勤の時、使っています。仕事先が遠いので、わ鉄があって助かっています。

また、足尾方面には高校がないので、高校生たちは、わ鉄にのって桐生の高校に通っています。6時台の電車に乗って調べたところ、桐生につくまでに40人ほどの人が乗り、通勤・通学に役立っていることが分かりました。